



## 1980~81年度 R.I.会長の挨拶

ロルフ J. クラリッヒ

1980~81年度国際ロータリー会長

親愛なる友よ：

貴君がこのメッセージを読まれる時、過去を思い浮べていただきたい。私もそうでしたが、「忙しすぎて」奉仕の機会を逃がしたことが幾度かあったでしょう。

ロータリアンである私たちにとって、奉仕の機会は至るところにあります。目を向けて下さい。身体障害者、未熟練勤労者、貧しい人、飢えた人、また疾患に苦しむ人々が世界中にいるのです。

助けを必要とする人々への奉仕に捧げる時間は、その人たちの生活にだけでなく、われわれ自身の生活にも転機をもたらすこととなります。

さらに、ロータリーの会員には、75年余にわたり、ロータリアンが誇りをもって果してきた特別の責任があります。

ロータリーは、たくさんの歯車が連動して正確な時を刻む時計のようなものであります。一つでも歯が欠けていれば、時計は止まります。

歯車はロータリーの記章です。ロータリアンの一人びとりは、われわれのこの大きな国際機構を回転させるために活動しているのです。

それゆえに、本年度、われわれは何を優先すべきかを検討し、そして必ず奉仕のために時間を捧げる決心をしようではありませんか。

## 時間を捧げよう

昔からよく言われることですが、「何事かやって貰いたい時には、忙しい人に頼むがよい」と。

忙しい人とは、時間のたくさんある人のことではありません。やる値うちのある物事に時間を捧げる人のことです。

忙しい人は、何かしようと決心すると、貴重な時間を上手に使って、始めた仕事は必ずやり遂げます。

### …奉仕のために

奉仕のために時間を捧げることは、われわれにできる最高の時間の使い方であります。奉仕に捧げる時間は、われわれ自身にも、われわれが奉仕する人々にも、無益ではないのです。「超我の奉仕」は決して空虚な標語ではありません。

# 時間を捧げよう-奉仕のために

TAKE TIME TO SERVE

- **クラブ奉仕とは**、またクラブ会員への奉仕とは、諸会合への出席に、委員会の仕事に、さらにはクラブの企画と活動を通じてロータリーの理想を推進するために、貴君の時間を捧げることであります。
- **職業奉仕とは**、能力の限りを尽し、かつ、最高水準の道徳的行動によって貴君の仕事の責任を果たすために、時間を捧げることであります。
- **地域社会の人びとへの奉仕とは**、青少年のため、高齢者のため、身体障害者のため、また、助けの必要な人々のため、実のある奉仕活動推進に参加するために、時間を捧げることであります。
- **海外旅行の時の国際奉仕とは**、他国の人々について、その習慣について、そのかかえる問題点について、またその信念について、学び取るために時間を捧げることであります。
- **さらに**、各種のロータリーのプログラム、例えば、ロータリー財団、3-H計画、世界社会奉仕などに参加することによって、貴君は奉仕しているのです。

---

クラリッヒ氏は1973年にフィンランド、オウル市の製薬会社を売却するまで、同社の所有者兼専務理事であられた。1973年以降からはフィンランド食料品製造工業会の顧問に就任されて今日に至っている。氏はヘルシンフォーズのスウェーデン経済大学およびシチー・オブ・ロンドン大学の卒業生で、またオウル市商業会議所、オウル市雇用者協会、およびフィンランド食料品製造業者協会の各理事会の理事でもある。また以前には、フィンランド地方復員傷病兵協会オウル地区財務委員長を兼ねられて、英国領事であられたこともある。同氏は1953年以来ロータリアンで、地区ガバナー、地区ロータリー情報顧問、ロータリー情報・拡大顧問、顧問団メンバー、委員会の委員および委員長、理事、さらに副会長として、国際ロータリーに貢献された人である。